

報道機関各位

文化財課 文化財係

タイトル 赤穂市立有年考古館企画展の開催について

下記のとおり報告いたしますのでよろしくお願いいたします。

行事・事業名	有年考古館企画展「木簡—荷札からみた江戸時代の赤穂—」
日時	令和2年7月15日（水）～9月22日（火・祝）
場所・住所	有年考古館・一階展示室
趣旨・目的（PRしたいこと）	<p>このたび有年考古館では、企画展「木簡—荷札からみた江戸時代の赤穂—」を開催します。</p> <p>木簡（もっかん）とは、遺跡から出土する文字の書かれた木札のことで、江戸時代にはおもに荷物にとりつける荷札として使われました。そのため、木簡にはどのような人物が誰に何を送ったかが書き込まれており、当時の人々の交友関係や、物資の流通のようすなどを知ることができます。</p> <p>赤穂市では赤穂城・赤穂城下町跡から多くの木簡が出土しており、浅野家や森家の家臣の名や、城下町に暮らした商人の名前などを見ることができます。</p> <p>今回の展示ではこの木簡をテーマに、江戸時代の赤穂のようすを紹介いたします。</p>
問い合わせ先	部課係名：教育委員会文化財課文化財係 担当者名：山中 電話：0791-43-6962 内線（ 2325 ） F A X：0791-43-6895

添付資料（有）

○ホームページへの掲載（無）

有年考古館 企画展
「木簡－荷札からみる江戸時代の赤穂－」開催要項

1 展示名

企画展「木簡－荷札からみる江戸時代の赤穂－」

2 会 期

7月15日（水）～9月22日（火・祝）

3 趣 旨

現在の赤穂市街地の地下には、江戸時代の赤穂城と赤穂城下町の遺跡が広がり、その多くは良好な状態で保存されている。また特筆すべき赤穂の特徴として、標高が非常に低いため地下水の水位が高く、通常の遺跡では腐って残らない木製品が地下水の作用により非常に良好な状態で残るという点があり、全国的にも貴重な遺跡となっている。

木製品のうち、当時の文字が書かれたものは「木簡」とよばれ、そのほとんどが荷札として用いられている。木簡の中には、赤穂義士や赤穂浅野藩家臣の名が書かれたもの、商取引の内容が書かれたもの、食品や料理の名前が書かれたものなど、当時のようすを知る貴重な歴史資料となっている。

展示では発掘調査で発見された木簡を紹介し、木簡からわかる江戸時代の赤穂のようすについて紹介する。

4 入館料及び観覧料

無 料

5 会 場

赤穂市立有年考古館 1階展示室

6 展示資料

- ・赤穂城跡及び城下町跡出土木簡
 - ・赤穂城本丸跡出土遺物
 - ・赤穂城下町跡出土遺物
- 等 約100点

7 印刷物・広告等

ポスター、チラシ、インターネット、Web サイト「赤穂市立有年考古館」
(<http://www.geocities.jp/unekoukokan/>)、Web サイト「赤穂市の文化財」
(<http://www.ako-hyg.ed.jp/bunkazai/>)、有線放送

令和2年度企画展

木簡

もっかん

荷札からみた江戸時代の赤穂



会期 7月15日(水) ↓ 9月22日(火・祝)

赤穂市立有年考古館

令和2年度企画展

木簡

荷札からみた江戸時代の赤穂

木簡（もつかん）とは、考古学や歴史学の分野で使われる用語で、文字の書かれた木の板のことを指します。木簡はメモや荷札、まじないの道具などとして使われることが多く、紙が広く普及する江戸時代以降には主に荷札として使われました。

薄い木の板でできた木簡は地中で腐って無くなってしまふことが多く、江戸時代のものであっても、発掘調査で発見されることは非常にめずらしいものです。



木簡の出土した赤穂城本丸跡の発掘調査



木簡の出土した赤穂城下町跡の発掘調査

ところが、赤穂城跡・赤穂城下町跡は木簡が腐らない特殊な環境にあるためか、江戸時代の木簡が多く出土する全国的にも珍しい遺跡になっています。

こうした木簡の中には江戸時代の様々な時期のものがみられ、「忠臣蔵」で著名な浅野家の家臣の名が書かれたもの、町人や豪商の名が書かれたもの、食材や荷物の名が書かれたものなどがあり、当時の人々の生活や交友関係を垣間見ることが出来ます。

今回の展示では、木簡から、江戸時代の赤穂の人々のようすを考えます。



うね

赤穂市立有年考古館

〒678-1181 兵庫県赤穂市有年榎原1164番地1

TEL・FAX 0791-49-3488

TEL:0791-43-6829 FAX:0791-43-6892 レンタサイクル利用可(有料)

入館無料

■休館日■ 火曜日 ※火曜日が祝日と重なる場合は次の平日
年未年始(12月28日～1月4日)

■開館時間■ 午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで)

■Webサイト■ 「赤穂市立有年考古館」で検索!

■Mail■ kyosyogai@city.ako.lg.jp